

学 長 定 例 記 者 会 見 要 項

日 時：平成26年9月2日(火) 11:00～11:30

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス、事務局4階)

発 表 事 項

1. 山形大学「地(知)の拠点整備事業」平成26年度地域志向教育研究課題
 - ①「観光まちづくりによる中心市街地の再生」について
 - ②「セイヨウナシ消費拡大のための食べ頃判定技術の確立」について
2. 産学連携学会で d.a.t プロジェクトが奨励賞を受賞
3. 「蔵王でミニワールド体験－国際交流実践講座」を実施しています

お 知 ら せ

1. 日本天文学会山形開催記念、公開講座のおしらせ
2. 人文学部公開講座「グローバル世界と日本はどうつきあうか」の開催
3. 奥の細道マイスター養成講座初級講座(公開講座)のご案内

(参 考)

○ 次回の学長定例記者会見(予定)

日 時：平成26年9月16日(火)11:00～11:30

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス、事務局4階)

地(知)の拠点(COC)整備事業概要

山大COCの事業目的

山形大学の教育、研究、社会貢献の地域志向性を高めることにより、山形県が抱える様々な地域課題の解決に取り組んでいくための人材を育成する



教育

地域志向科目、実習、インターンシップの拡充



研究

地域課題解決、研究活動への学生参加

山形の課題を解決する人材の育成

社会貢献

社会人教育、高校への出前講義

山大COCの3部門の具体的目標

教育部門

- 地域志向科目*を増やす
- 実習形式の授業科目を増やす
- 短期、中長期のインターンシップを推進する

* 地域志向科目とは、何らかの形で山形に関する内容を講義に盛り込んだ科目のこと

研究部門

- 共同研究・受託研究の推進
- 実習教育と連携した地域の課題解決

社会貢献部門

- 公開講座、開放講座の積極的開講
- 高等学校教育と協力した出前講義実施
- 科学分野における小中学校教育への積極的協力
- 社会人のリカレント教育推進
- ボランティア活動等を通じた学生の社会参加の積極的推奨

3部門全てに共通するのは「地域志向性」の向上

事業実施体制

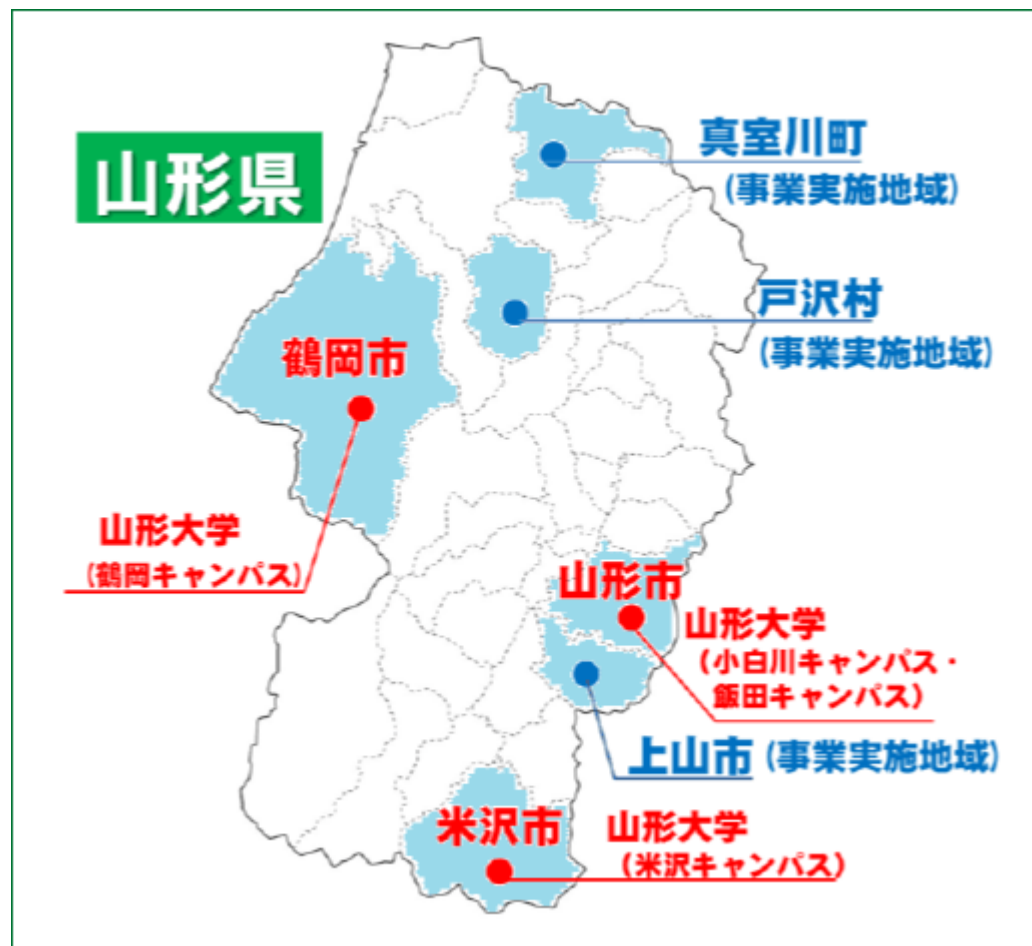
- ・事業期間：平成25～29年度
- ・教育・学生支援部のもとに「**COC推進室**」を設置
- ・COC事業を円滑に進めるため、2つのサテライトを設立

上山サテライト

- 所在地：上山市
- 担当市町村：
上山市、山形市、米沢市

最上サテライト

- 所在地：新庄市
- 担当市町村：
鶴岡市、真室川町、戸沢村



【COC事業連携自治体(1県6市町村)】

詳細は、COC推進室HP(<http://www.yamagata-u.ac.jp/coc/>)

平成26年9月2日
山形大学

山形大学「地（知）の拠点整備事業」 平成26年度地域志向教育研究課題

「観光まちづくりによる中心市街地の再生」について

平成25年度に文部科学省の「地（知）の拠点整備事業」として採択された本学の「自立分散型（地域）社会システムを構築し、運営する人材の育成」事業（以下、COC事業）において、連携自治体の一つとなっている上山市と共同で同市の観光まちづくりを学生たちが手がけている「観光まちづくりによる中心市街地の再生」を紹介します。

目的

- ・教室では学習できないまちづくりの必要性や効果を現地で学ぶ。
- ・本学で開講している授業科目とリンクさせ教育効果を高めるとともに、連携自治体からの要請に応えた若年層を対象にした観光まちづくり案を提案。

内容

平成26年度は、本年3月に出版した昨年度のCOC事業報告（人文学部叢書4『観光資源の有効活用と中心市街地の再生』）をもとに、学生が同市の観光商品を企画します。

前期は、9名の学生が参加し、プランを発案。後期は、コンペ形式で他学生からの評価を受けた後、上位商品を学生が実際に体験し、プランを修整します。

この活動は、人文学部山田浩久が担当し、同教員が開講する「地域構造論演習（前期）」と「地誌学（後期）」の講義内容に対応した現地学習となっています。

学生作成事例

以下のQRコードは、学生たちが現地を調査して作成したスマホで閲覧可能な観光施設・ルート図の一部で、今後さらに内容を充実させて、年内には人文学部ホームページにおいて公開する予定です。



（左は飲食店map、右は街歩き提案）

（お問合せ先）
山形大学人文学部
教授 山田 浩久
電話 023-628-4246

平成26年9月2日
山形大学

山形大学「地（知）の拠点整備事業」 平成26年度地域志向教育研究課題

「セイヨウナシ消費拡大のための食べ頃判定技術の確立」について

平成25年度に文部科学省の「地（知）の拠点整備事業」に採択された本学の「自立分散型（地域）社会システムを構築し、運営する人材の育成」事業（以下、COC事業）の一つの研究課題として、山形県の特産果樹の一つであるラ・フランス等の消費拡大を図るために、消費者自身が食べ頃を簡単に判定できる技術を開発し、それらの普及と他品種への応用を目指します。

◆研究の背景

セイヨウナシの食べ頃の判断は難しく、なかでもセイヨウナシの生産量の7割を占めるラ・フランスは、食べ頃になっても外観がほとんど変化しないため、食べ頃の判断がとりわけ困難です。このことが山形県の特産果樹の一つであるラ・フランスの消費拡大のネックになっています。

◆開発した熟度テスター

ラ・フランスの熟度テスターとして開発したのは、バネの力を利用した装置で、テスターを果実に押し当て、果実が硬いと先端にある金属の棒が中に引っ込みます。一方、果実が軟らかくなって食べ頃になると、この棒が果実に突き刺さります。つまり、棒が突き刺さるか、突き刺さらないかで食べ頃を判断します。

◆今後の予定

今後、開発した熟度テスターを山形県の研究機関で実証試験を行うとともに、その結果をもとにバージョンアップし、ラ・フランスの食べ頃テスターの実用化を目指します。さらに、他品種への適用を検討していきます。

（お問合わせ）

農学部 教授

村山 秀樹

電話 0235-28-2887

平成26年9月2日
山形大学

産学連携学会で「d.a.t.」プロジェクトが奨励賞を受賞

6月25日から27日まで開催された「産学連携学会 第12回大会」での口頭発表「石巻復興を目指したd.a.t.プロジェクトの創生と製品化プロセス」が奨励賞を受賞しました。

◆産学連携学会とは

産学連携に関する諸課題を専門的実践者の立場から取り扱うために、産学官の学識経験者や実務家などが広く交流し、相互に啓発、支援し合う場です。年に一度発表者数が300人規模の大会が開催されています。

◆「d.a.t.」プロジェクトとは

本プロジェクトについては、今年3月4日の学長記者会見において発表していますが、本学東北創生研究所産業構造研究部門はYahoo! JAPANと共同で「Hack U 山形大学 in 石巻」を2013年3月から約一年かけて3回行ってきました。この中では「東北の復興と新生に向けたものづくり」を行うべく、「実際に役に立つものづくり・ことづくり」を目標として、4つのチームが被災地の課題解決に向けた取り組みを行って来ました。

本活動の中で、**防災グッズチーム**（学生3名と数人のYahoo! JAPAN社員やメンターの方々）は、東日本大震災からの教訓を活かした防災グッズの開発に取り組み、1年未満の短期間で防災グッズブランド「d.a.t.」の開発に成功し、今年3月から株式会社大都のインターネットショップであるDIYツールドットコム ヤフー店にて販売するに至りました。この防災グッズチームの活動と製品の開発課程について、6月25～27日に長野県下諏訪市で開催された「産学連携学会第12回大会」で発表（発表者：志藤慶治、共著者：四釜拓生、山田明、柳澤郷司、落合文吾、高橋幸司）し、奨励賞を受賞しました。

◆今後の予定

10月から新たにチームの再編成を行ったのち、現行品の再検討と第二弾の開発に取り組み、今後もd.a.t.のシリーズの製品開発を進めていく予定です。

*「d.a.t.」とは…

災害時（disaster）に普段はインテリア（art）として使っているものを持って（take）、脱兎のごとく逃げて欲しいという想いを込めて開発した防災グッズシリーズです。これまで、第一弾として椅子型の防災スツールの発売しました。

*山形大学東北創生研究所とは…

学部の枠を超えて全学の英知を結集し、東北地方における新しい自立分散型社会システムの創生を目指すため、2012年1月1日に山形大学総合研究所（上山市）内に設立された、社会創生研究部門、産業構造研究部門、食料生産研究部門の3部門からなる研究所（所長：大場好弘理事・副学長）。

*d.a.t.スツール販売ページ <http://store.shopping.yahoo.co.jp/diy-tool/d62-0001.html>



（お問合せ先）
山形大学東北創生研究所産業構造研究部門
部門長 高橋 幸司
TEL：0238-26-3156
Email:ssk-sangyo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

平成26年9月2日
山形大学

「蔵王でミニワールド体験－国際交流実践講座」を実施しています

グローバル社会に対応する取り組みの一つとして、山形大学のサテライトがある中国、ベトナム、インドネシア、ケニア、ペルー、ラトビアの6カ国から留学生を本学に受け入れ、山形大学生と相互理解を深める「蔵王でミニワールド体験－国際交流実践講座－」を実施中です。

蔵王合宿に参加した学生（地域教育文化学部3年 鈴木 杏）から、体験についてご報告します。

このプログラムは、各国の事情、文化、習慣等の違いについて相互理解を深め国際感覚を養い、様々な交流活動を通してコミュニケーション能力の向上を図ることを目的に実施したもので、今回で3回目となります。前年度参加者の声を聞いて、今年参加したという留学生や本学への進学を希望する留学生もおり、この取り組みの効果が少しずつ見えてきました。

期間：8月26日（火）～9月4日（木）の10日間

参加者：留学生 18名（男性9名、女性9名）

内訳 延辺大学（中国、3名）
ベトナム国立農業大学（ベトナム、3名）
カントー大学（ベトナム、2名）
ガジャマダ大学（インドネシア、2名）
ジョモケニヤッタ農工大学（ケニア、2名）
ラ・モリーナ国立農業大学（ペルー、2名）
カトリカ大学（ペルー、2名）
ラトビア大学（ラトビア、2名）

山形大学 18名（男性8名、女性10名）※一部参加者を含む

（内訳：人文学部5名、地域教育文化学部4名、工学部3名、農学部6名）

内容：各国の課題と将来についてのプレゼンテーション、グループディスカッション、各大学紹介のプレゼンテーション、講義、日本語学習、花笠体験、山形街歩き等

予定：9/2(火) 9:00 山形街歩き
13:00 産業科学館見学
15:00 放送大学訪問、グループディスカッション等
9/3(水) 9:00 山形放送訪問
13:30 街歩きまとめ（基盤教育1号館125教室）
15:15 街歩き発表（"）
16:30 感想発表（"）
17:00 送別会（厚生会館）
9/4(木) 10:00 閉講式・安田理事から修了証書授与
（基盤教育1号館125教室）
12:00 山形大出発 成田空港へ



（お問合せ先）

山形大学教育・学生支援部

国際交流課国際交流室 迎田、星

電話 023-628-4118

平成26年9月2日
山形大学

*詳細は別添の資料をご覧ください。

1. 日本天文学会山形開催記念、公開講座のおしらせ

山形大学が主催大学となり、9月11日から13日まで日本天文学会が本学で開催されることを記念して、公開講座を開催します。市民向け講演会ですので、どなたにも楽しんでいただける企画です。

今回は通常の講演とはひと味違い、アマチュア天文家で世界的な発見を次々と発表している板垣公一氏（山形在住）と天文学者が一緒に講演するこれまでにない企画です。板垣氏は2001年以来、毎年複数の超新星を発見し続けており、発見数は100個に迫る勢いで、アマチュア天文家としては日本ではダントツの発見者です。天文学者は、超新星爆発の残骸研究するX線天文学の大御所である京都大学名誉教授 小山 勝二氏、若手宇宙論研究者である東京大学教授 吉田 直紀氏が講演を行います。

◆日時：9月14日（日）13:00～16:30

◆内容：講演

1. 「たのしく星探しやってます！」 板垣 公一氏(山形市在住アマチュア天文家)
2. 「1000年の時空を駆けた超新星の話」 小山 勝二氏(京都大学名誉教授)
3. 「宇宙138億年の進化」 吉田 直紀氏(東京大学 教授)

会場と講師をつないだ立体的な会話の時間・質問コーナー

◆場所：山形テルサ 3階 アプローチ（山形市双葉町1丁目2-3）

◆対象：一般市民 定員400名（参加費無料・事前申込不要）

2. 人文学部公開講座「グローバル世界と日本はどうつきあうか」の開催

人文学部では、10月2日（木）から毎週木曜日5回にわたって公開講座を開催します。本講座では、「グローバル世界と日本はどうつきあうか」というテーマについて、「グローバル化」と「ナショナリズム」をキーワードに、皆様と一緒に考えていきます。

◆日時：※全回 木曜日 18:30～20:10

10月2日「グローバル化がナショナリズムを強化する？」高橋 和 氏（人文学部教授）

9日「グローバル化の中での医療制度の行方」村上 正泰 氏（大学院医学系研究科教授）

16日「ヘイストスピーチ規制と表現の自由」中島 宏 氏（人文学部准教授）

23日「南極海捕鯨事件から見えてくるもの」丸山 政己 氏（人文学部准教授）

30日「日中関係における民間外交、文化外交の役割について」赤倉 泉 氏（人文学部准教授）

◆対象/定員：一般市民・大学生・高校生 / 30名

◆受講料：一般 2,000円 ※大学生・高校生は無料

◆募集期間：9月1日（月）～9月26日（金）

3. 奥の細道マイスター養成講座初級講座（公開講座）のご案内

平成24年度にスタートした本学の「奥の細道マイスター事業」は、元禄2年（1689年）の芭蕉のみちのくの旅を学んで東北の歴史・文化について語れるボランティアガイドの育成を行いつつ、大震災後の東北の文化によるネットワークを構築するという取り組みです。

平成26年度のマイスター養成講座（初級）では、その一部を公開講座として広く一般に開放します。参加費は無料、事前申込が必要です。

- ◆日 時：10月10日（金）14：00～16：00
- ◆テ ー マ：「蟬と蛙は何匹いた？ - 芭蕉が見た日本の自然とみちのく - 」
- ◆講 師：山本 陽史 山形大学基盤教育院教授
- ◆場 所：山寺芭蕉記念館（山形市大字山寺字南院4223）
- ◆定 員：80名（先着順）
- ◆申込締切：9月29日（月）

※ これまでの学長定例会見でお知らせをしたもので、開催がせまっているイベント

●大学コンソーシアム山形「やまがた夜話」の開催

「大学コンソーシアムやまがた」では、「もう一つの人づくり」を実現するため、「山形県の人・モノ・地域作り」をテーマにそれぞれの得意分野で活躍している第一人者の目線で皆さまにわかりやすくお話する講話「やまがた夜話」を開催しています。9月は、「越冬隊員が語る 南極観測物語」をテーマに開催します。講師は、本学職員1名を含む第53次日本南極地域観測隊員有志の4名。

- ◆日 時：※全回 18：30～19：30
 - 9月 3日（水）「南極で暮らす知恵とテクノロジー」
 - 9月10日（水）「科学のフロンティア。”こんな光景あったのか？！”
南極の大自然をご紹介（自然編）」
 - 9月17日（水）「閉鎖・孤立・寒冷環境下での医療問題」
 - 9月24日（水）「事務職員の見た南極生活」
- ◆場 所：ゆうキャンパス・ステーション（山形市：山形むらきさわビル1階）
- ◆対 象：高校生・学生・一般市民 定員50名（参加費は無料）

日本天文学会公開講演会

天文日和

今日の午後、宇宙散歩は、なんとっす

山形は宇宙に一番近い場所かも知れません。市民の宇宙への関心が非常に高いからです。超新星の発見の名人、板垣公一さんをはじめ、アマチュアの観測家も多く、宇宙大好きな市民 NPO による活動や「やまがた天文台」もあります。大学では宇宙物理学の理論や実験が行われています。

このたび、日本天文学会秋期年会在山形大学で開催されることとなり、あわせて公開講演会を開催し、この機会に、宇宙の不思議と天文学の進歩を感じて頂ければと思います。

だれもが楽しめる以下のような講演です。

2014年

9月14日  13:00 ~ 16:30
(開場 12:30)

会場 山形テルサ 3F アプローチ
(JR山形駅西口)

山形県山形市双葉町1丁目2-3

定員 400名 ※定員を超えた場合には、
入場制限をお願いする場合があります。

〈総司会〉山岡 均 (九州大学・日本天文学会教育理事)

参加費無料

(事前申込不要)

どなたでも参加できます

(途中入退場可)

講演 1 **たのしく星探しやっています!** ~超新星ハンターのひとりごとより~
板垣 公一 (山形市在住アマチュア天文家)

講演 2 **1000年の時空を駆けた超新星の話**
小山 勝二 (京都大学 名誉教授)

講演 3 **宇宙138億年の進化**
吉田 直紀 (東京大学 教授)

おたのしみ 4 **会場と講師をつないだ立体的な
会話の時間・質問コーナー**

お問い合わせ

日本天文学会公開講演会山形開催事務局
山形大学・理学部・物理学科・宇宙物理研究グループ
〒990-8560 山形市小白川町1-4-12
E-mail: asjpub@ksirius.kj.yamagata-u.ac.jp
HP: http://ksirius.kj.yamagata-u.ac.jp/~asj14fall/

主催: 日本天文学会

後援: 山形大学・山形市・山形県・山形市教育委員会
山形県教育委員会・NPO 法人小さな天文学者の会

[本講演会は、JSPS科研費 260011の助成を受けたものです。]



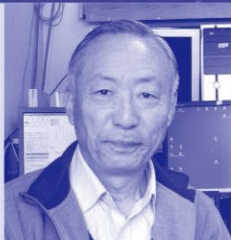
天文日和

今日の午後、
宇宙散歩は、なんとっす

〈総司会〉山岡 均 (九州大学・日本天文学会教育理事)

講演

1



たのしく星探しやっています!

~超新星ハンターのひとりごとより~

板垣 公一 (山形市在住アマチュア天文家)

2001年以來、毎年複数の超新星を発見し続けている板垣公一さんが、実際の観測の様子、努力のポイントなどを楽しく語る。

講演

2



1000年の時空を駆けた超新星の話

小山 勝二 (京都大学 名誉教授)

千年前、安倍晴明とその子孫が超新星爆発を観測した。その結果を、藤原定家が「明月記」に残した。その痕跡、超新星残骸は最新鋭の観測機器で観測された。ここでは千年前の超新星爆発とその残骸を観測した最新の天文学の話題を取り上げて、1000年の時空をかける壮大な旅に御案内する。

講演

3



宇宙 138 億年の進化

吉田 直紀 (東京大学 教授)

最新の宇宙観測とコンピューターシミュレーションによる結果を交え、ダークマターやダークエネルギー、宇宙暗黒の時代など、宇宙進化の歴史を分かりやすく解説します。

おたのしみ

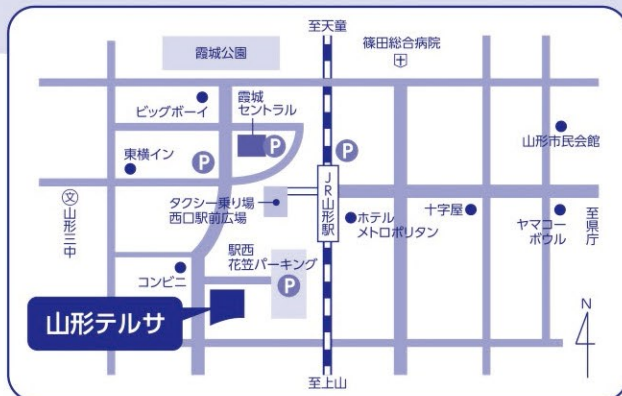
4

会場と講師をつないだ立体的な会話の時間・
質問コーナー

会場

山形テルサ 3F アプローズ
(JR山形駅西口)

山形県山形市双葉町1丁目2-3



平成26年度
山形大学公開講座 [人文学部]

グローバル世界と 日本は どうつきあうか



10.2 木

グローバル化が
ナショナリズムを強化する?

人文学部 教授 高橋 和

10.9 木

グローバル化の中での医療制度の行方

医学部 教授 村上 正泰

10.16 木

ハイトスピーチ規制と表現の自由

人文学部 准教授 中島 宏

10.23 木

南極海捕鯨事件から見えてくるもの

人文学部 准教授 丸山 政己

10.30 木

日中関係における民間外交、
文化外交の役割について

人文学部 准教授 赤倉 泉

日 時：平成26年10月2日（木）～10月30日（木）
午後6時30分～8時10分 [木計5回]

場 所：山形大学人文学部3階 301教室

対 象：一般市民・大学生・高校生 定員30名

受 講 料：一般 2,000円

大学生・高校生は無料

募集期間：平成26年9月1日（月）～9月26日（金）

〈お問い合わせ先〉

山形大学人文学部事務室

電話：023-628-4203

E-mail: jjisoumu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

グローバル世界と 日本はどうつきあうか

講座の概要

「グローバル化」と言うと、TPP交渉など、その扱いによっては、私達の生活に悪影響を及ぼしかねないマイナスのイメージがつきまといりますが、人的に依存しあう現代世界に暮らす私達にとっては、正面から向かい合わなければならない問題です。また私達は「グローバル化」の反作用として、日本の独自の価値や制度を見失わずに残してゆく必要も感じるでしょうが、それはえてして「ナショナリズム」を喚起しがちで、紛争の火種ともなりかねません。このような情勢の中で、日本は世界とどのようにつきあって行くべきなのでしょう。

本講座では、「グローバル化」と「ナショナリズム」をキーワードにして、人文学部法経政策学科の教員を中心に、それぞれの専門の立場から、まずは、各分野におけるこれらをめぐる論点の所在を明らかにし、一緒に考えていきたいと思えます。



第1回目

10.2 木

グローバル化が
ナショナリズムを強化する?

人文学部 教授 高橋 和



グローバル化とは世界がひとつになっていく現象です。私たちは日常生活でさえ、他の国との結びつきなしには成り立ちません。世界がひとつに結びついているという状況にもかかわらず、他方では以前にも増して「ナショナリズム」が声高に叫ばれるようになってきました。なぜグローバル化が進むとナショナリズムという対極にある意識が強化されるのでしょうか。ここでは、グローバル化とナショナリズムの関係を、国際関係という視点から考えてみます。

専門領域：国際関係学・東欧地域研究



第2回目

10.9 木

グローバル化の中での
医療制度の行方

大学院医学系研究科(医学部) 教授 村上 正泰



医療分野にもグローバル化の波が押し寄せています。これまでも米国政府から、いわゆる「混合診療」の全面解禁や薬価算定ルールの見直しが求められてきましたし、交渉中のTPPでも、医薬品の知的財産権が争点となっています。最近では、外国人医師の受け入れ拡大や国際医療交流も「成長戦略」の文脈で議論されています。医療は市場化になじまない「社会的共通資本」であり、価値観や歴史的経緯の違いを反映して、制度は各国で大きく異なっていますが、グローバル化が医療にどのような影響を与えているのか、その問題点を検討します。

専門領域：医療政策学・医療経済学



第3回目

10.16 木

ヘイトスピーチ規制と
表現の自由

人文学部 准教授 中島 宏



特定の人種・性別・宗教等の「集団」に対する憎悪や偏見を煽る表現のことを、ヘイトスピーチ(憎悪表現)と呼びます。ヘイトスピーチを法的に規制することがグローバル・スタンダードとなっている今日、日本とアメリカはヘイトスピーチ規制を行わない「特殊な」国となっています。日本はなぜ規制をしてこなかったのか、そしてこれから規制をすべきなのか否か、これは表現の自由をどのように保障するのかという論点と大きく関係する問題です。我々にはどのような選択肢があり、その選択肢にはどのような問題点があるのかを検討します。

専門領域：憲法学



10.23 木

南極海捕鯨事件から
見えてくるもの



人文学部 准教授 丸山 政己

今年3月、国際司法裁判所は、日本による南極海調査捕鯨は国際捕鯨取締条約に違反していると判断し、現行の調査捕鯨をやめるよう命じる判決を下しました。日本では、伝統的な食文化が否定された、公平性を欠いた判決だ、などとも報じられました。確かに、鯨を捕って食べることに他国からとやかく言われる筋合いはないはずだという声も聞こえてきそうです。しかし、国際社会を代表する国連の司法機関から停止を求められた以上、日本はいかに対応すべきかについて考えなければなりません。本講義では、こうした点について考えてみたいと思います。

専門領域：国際法・国際組織法



10.30 木

日中関係における民間外交、
文化外交の役割について



人文学部 准教授 赤倉 泉

日本と中国の関係は複雑です。その中で、対立するよりも協力的な関係を築いていこうという未来志向的な市民が、日中の双方に大勢います。本講座では、そうした人々の取り組みについてご紹介します。そして、民間外交や文化外交の果たす役割について、日本アニメなどのポップカルチャーの話題も交えながら、考えていきたいと思っています。

専門領域：現代中国政治

各票の※印欄は、ご依頼人において記載してください。

02	払込取扱票		通常払込料金 加入者負担	
口座記号番号			金額	千 百 十 万 千 百 十 円
0 2 2 6 0 7	9 2 4 7 8		2 0 0 0	
加入者名	国立大学法人山形大学	料金	備考	
通信欄	※「グローバル世界と日本はどうつきあうか」申込書 ※この払込用紙は、1人1枚をご使用ください。(人文学部) ○職業をお書きください。() ○年齢をお書きください。() ○今後の連絡の便宜のためにEメールアドレスをお持ちの方は ご記入ください。() ※個人情報の利用について 提出いただいた書類の個人情報は、本公開講座の参加に関する手続きのみに使用し、 第三者に開示・提供・預託することはありません。ただし、ご承諾いただける場合は、今後の公開講座やセミナー 棟のご案内を本学からお送りする場合がございます。□ 承諾する □ 承諾しない (いずれかをチェック願います)			
ご依頼人	おとこ (郵便番号)	おなまえ	日附印	
裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行) (承認番号仙第8982号)		これより下部には何も記入しないでください。		

切り取らないでお出しく下さい。

振替払込請求書兼受領証	
口座番号	0 2 2 6 0 7
	9 2 4 7 8
加入者名	国立大学法人山形大学
金額	千 百 十 万 千 百 十 円 2 0 0 0
おなまえ	
ご依頼人	様
料金	日附印
備考	

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。



この講座はゆとり都カレッジに参加しています。

- 募集人員** 一般市民・大学生・高校生 30名
- 募集期間** 平成26年9月1日(月)～9月26日(金)
- 受講料** 2,000円(大学生・高校生は無料)
- お申し込み方法** 下の「払込取扱票」に記入の上、受講料の振り込み手続きをしてください。
通信欄には、職業、年齢を記入してください。
先着順に受け付け、受講票をお送りします。
なお、大学生・高校生は、メールあるいは電話で、住所、氏名、電話番号、年齢を下記のお問い合わせ先にご連絡ください。
- お問い合わせ先** 〒990-8560
山形市小白川町1-4-12 山形大学人文学部事務室
TEL : 023-628-4203
E-mail : jisoumu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp
- 会場案内** 山形大学人文学部3階 301教室
大学正門を入れて正面の建物です。
受付は会場301教室前にて行ないます。
- その他** 【公共交通機関ご利用のお願い】
現在、山形大学小白川キャンパスでは、駐車場が非常に手狭になっております。公開講座当日はできるだけ公共交通機関、または本学シャトルバス(山形駅～小白川循環・料金100円)のご利用をお願いいたします。

シャトルバス運行時刻表

<http://www.yamagata-u.ac.jp/pdf/ekijikoku.pdf> 参照

この受領証は、郵便局で機械処理をした場合は郵便振替の払込みの証拠となるものですから大切に保存してください。

ご注意

この払込書は、機械で処理しますので、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。

この場所には、何も記載しないでください。

奥の細道マイスター養成 初級講座(公開講座)のご案内

山形大学では平成24年度に「奥の細道マイスター事業」をスタートしました。元禄2年(1689年)の芭蕉のみちのくの旅を学んで東北の歴史・文化について語れるボランティアガイドの育成を行いつつ、大震災後の東北の文化によるネットワークを構築する取り組みです。

平成26年度のマイスター養成講座(初級)において、一部を公開講座として、広く一般に開放します。また、当講座は、第24回山寺芭蕉記念館文化セミナー(第2部)としても開催します。

平成26年10月10日(金) 14:00~16:00

講演:「蝉と蛙は何匹いた? - 芭蕉が見た日本の自然とみちのく - 」

講師:山本陽史山形大学基盤教育院教授

場所:山寺芭蕉記念館(山形市大字山寺字南院4223)

定員:80名(受講料 **無料**)



○申込方法/裏面受講申込書により郵送またはFAXで申し込みください。

○締切/平成26年 9月29日(月)

○定員/公開講座 80名(先着順とし、定員になり次第締め切らせていただきます。)

お問い合わせ先

山形大学インクルメント・マネジメント部社会連携課

〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12

TEL: 023-628-4843 FAX: 023-628-4491

E-mail: k-sangaku@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

奥の細道マイスター初級講座 (公開講座)受講申込書

氏名	住所・連絡先
	〒 TEL() — FAX() — (年齢 才) E-mail:

申込
締切

平成26年9月 29日(月)

公開講座の受付は、先着順となります。

お申し込み先

山形大学エンロールメント・マネジメント部社会連携課
〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12
TEL : 023-628-4843 FAX : 023-628-4491
E-mail : k-sangaku@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

やまがた夜話

越冬隊員が語る

『南極観測物語』

第53次日本南極地域観測隊員有志



9月 3日(水) 18:30~19:30

『南極で暮らす知恵とテクノロジー』

石沢 賢二 氏(隊長)

9月10日(水) 18:30~19:30

『科学のフロンティア。“こんな光景あったのか?!”』

南極の大自然をご紹介(自然編)』

奈良 亘 氏(隊員)

9月17日(水) 18:30~19:30

『閉鎖・孤立・寒冷環境下での医療問題』

桑原 悠一 氏(隊員)

9月24日(水) 18:30~19:30

『事務職員の見た南極生活』

鈴木 毅 氏(隊員)



会場 ゆうキャンパス・ステーション
(山形むらきさわビル1階)

アクセス 山形駅東口より徒歩1分

対象 高校生・学生・一般市民
定員: 50名

入場無料

お申し込み 電話又はチラシ裏面の参加
申込書に必要事項を記入の
上Fax, 郵送、メール等でお
申し込みください。



主催

後援

お申込み・お問合せ

大学コンソーシアムやまがた
山形市

〒990-0039 山形市香澄町1-3-15 山形むらきさわビル1階
Tel: 023-628-4842 FAX: 023-628-4820
E-mail: unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



大学コンソーシアムやまがた



FAX:023-628-4820

大学コンソーシアムやまがた事務局 行き

やまがた夜話に参加申込みをします。

必要事項を明記の上、FAX・郵送またはE-mailにてお申込ください。

申込締切日:それぞれの夜話前日までにお申込をお願いいたします。

参加日	参加希望日に☑、又は日付を○で囲んでください。 <input type="checkbox"/> 平成26年 9月 3日(水) 講師: 石沢 賢二 氏 <input type="checkbox"/> 平成26年 9月 10日(水) 講師: 奈良 亘 氏 <input type="checkbox"/> 平成26年 9月 17日(水) 講師: 桑原 悠一 氏 <input type="checkbox"/> 平成26年 9月 24日(水) 講師: 鈴木 毅 氏
住所	〒
氏名	
連絡先	TEL
	E-mail
所属	

受講申込者が多数の場合は、お手数ですが参加申込書をコピーしてご利用ください。

この申込書にご記入いただいた情報は、今回の講座を受講するために必要な事務連絡等に使用すると共に、参加者名簿の作成にのみ使用させていただきます。

【お申込み・お問合せ先】

大学コンソーシアムやまがた ゆうキャンパス・ステーション

〒990-0039 山形市香澄町1-3-15 山形むらきさわビル1階

TEL:023-628-4842 FAX:023-628-4820 E-mail:unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp